

地域の魅力を交流。EVIは「道の駅ネットワーク構想」を推進中。



基本コンセプト：地域の魅力を交流+環境貢献

環境貢献と商品交流
「道の駅ネットワーク構想」

地元の商品を道の駅間で交流させる「道の駅ネットワーク構想」(日南町、横手市、石狩市、横手市、津山市、小国町、日南市)なども計画しており、森林支援と地域の活性化を目指しています。



鳥取

「道の駅ネットワーク構想」の起点となっている日南町・道の駅「にちなん日野川の郷」

環境貢献と商品交流

「道の駅ネットワーク構想」連携に向け訪問

EVIは、地元の産品を道の駅間で交流させる「道の駅ネットワーク構想」(日南町、石狩市、横手市、魚沼市、津山市、小国町、日南市)を計画しており、森林支援と地域の活性化を目指している。

前号で紹介した横手市・道の駅「さんない」に続き、連携を目指しているEVIは、各地を訪問した。

秋田 横手市 道の駅「さんない」を視察

指定管理者・横手市道の駅関係者総勢8名の皆様に、EVIのこれまでの活動と鳥取県日南町の道の駅「にちなん日野川の郷」の事例を紹介。

日本全国に1117ある道の駅の約三分の一のアンケート結果から見えてくる道の駅の状況と課題から連携へ。

新潟 魚沼市役所・森林組合 道の駅「深雪の里」

7月7日、魚沼市役所小出支所、森林組合を訪問。その後、魚沼の繁盛店である道の駅「深雪の里」の田原社長(駅長)にEVI加藤が進める「道の駅ネットワーク構想」に共鳴いただき連携へ。

北海道 石狩市役所・道の駅石狩「あいろーど厚田」

近接遠来を目指し、道の駅石狩「あいろーど厚田」が来春オープン。7月20日、21日、EVI加藤が石狩市役所を訪問し、環境政策課の武田主査と中村主事に昨年カーボン・オフセット大賞を受賞した日南町の道の駅の導入から実施に至るまでのコンセプトとプロセス、EVIとの関わりについてご説明し、道の駅の連携をご提案。商品交流について石狩市の姉妹都市の輪島、恩納村の他、日南町や横手市等連携の可能性についてご検討いただくことに。また、J・V E R販売益の活用場所海浜植物保護センターを見学させていただきました。

岡山 津山市久米支所 道の駅「久米の里」

7月28日、津山市のクレジット活用について津山市久米支所を訪問。道の駅担当様にEVIの活動事例やカーボン・オフセット、森林支援のしくみについてご説明。日南町の事例をあげ、その後、道の駅「久米の里」事務局長様にもお会いして、今後の連携の可能性について協議。少数アイテムからの商品交流についてご同意いただいた。

今後の訪問予定(宮崎・熊本)

昨年、すでに鳥取県日南町にマンゴーの商品交流のある宮崎県日南市道の駅「なんごう」と4月に訪問した熊本県小国町道の駅「ゆうすてーション」へは、連携目指し、9月に訪問予定。

店頭プロモーションセミナー開催

環境に負荷をかけない、「CO₂排出ゼロ」の

カルネコシステムをご説明

8月1日、都内セミナールームにて『購買のチャンスを最大化する「店頭」を機能させるヒント』を開催。予定人数を超える75名が参加し、日本を代表する飲料メーカー2社(サントリー・酒類、カゴメ)の販促担当者の講演を熱心に聞き入った。それぞれ、カルネコPOPシステムの先進性と経済性、また、店頭の効率化を強調。

カルネコ社長 加藤は、「価格ではなく価値で選ぶ時代」にふさわしいカルネコの店頭最適化と環境に負荷をかけない「CO₂排出ゼロ」のPOP調達について説明し、説得力のある現場担当者の講演となった。



2017年 **10月24日(火)** **開催!** 東京国際フォーラムB7ホール
受付10:00/開会10:30

EVI環境マッチングイベント2017

— 持続可能な社会のための環境貢献最先端成功事例 —



私たちにできること。

環境省、有識者、企業、登壇者続々決定!

今年で7回目となった本イベントのテーマは「私たちにできること」です。環境貢献のために、それぞれの立場から「私たちができること」は何か、環境問題に対する専門的な知見を深め、企業・団体・自治体が実施する環境プロモーションに関心を向けながら一歩ずつ実行していくことが必要です。

プログラムでは、環境分野の専門家をお招きし、環境プロモーションを推進する背景として、地球温暖化を抑制する環境省の方針や森林の役割と現状への理解、未来に向けての知見を深めていただき、EVIがネットワークする森林事業に携わる方々と企業や自治体によるクレジットを活用した更なる環境プロモーション事例の実績や提案をご紹介します。

EVIは「日本の森と水と空気を守る」をコンセプトに、森林クレジットを活用した国内における環境貢献活動を行い、カーボン・オフセットの普及と普段のお買い物を通して環境貢献できる仕組みや事例を数多く創出してきました。これらの活動を通じて、これからの地域に根ざした商品の開発と環境貢献を同時に実現し、持続可能な地域の活性化に役立つプラットフォームを目指してまいります。



私たちにできること。

加藤 孝一

カルネコ株式会社
代表取締役社長
(内閣府 地域活性化化道師)



脱炭素社会の
地球温暖化対策(仮題)

松澤 裕氏

環境省 地球環境局
地球温暖化対策課長



持続可能な企業経営と
カーボンプライシング(仮題)

末吉 竹二郎氏

国連環境計画
金融イニシアチブ(UNEP FI)特別顧問
国際金融アナリスト



持続可能な
水資源の確保(仮題)

内海 真生氏

筑波大学
生命環境系 准教授
つくば3Eフォーラム事務局長

専門家が語る地球環境の現状と未来への指針、企業や自治体による環境貢献成功事例、今日から始められる「環境貢献」と皆様の交流の場をご提供します。

※プログラムは、予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

詳細は
Webへ

一般消費者、企業、自治体の皆様、ぜひご参加ください!

EVI 環境 2017

検索

**【先着300名様・参加無料・事前登録制】
参加・ブース出展、お申込み受付中!**

